

地域に定着する放射線治療医養成 WG 領域2 密封小線源治療を担う人材の育成「演習1」を開催しました

地域に定着する放射線治療医養成 WG が開講する、緩和的放射線治療・密封小線源治療・高精度放射線治療の質の向上と普及を担う人材養成コース
領域2「密封小線源治療を担う人材の育成」において、「演習1」を開催しました。



演習1

10月4日（土）9:00～13:00（千代田テクノル社）

テーマ「基礎から学ぶ！子宮頸癌の組織内照射併用腔内照射」

講師：村上 直也先生、小此木 範之先生、川本 晃史先生、大島 理規先生、
井上 達也先生、飯島 康太郎先生（順天堂大学）

要旨：「子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療をもっと知りたい」「組織内照射併用腔内の基礎から学びたい」そんな声にお応えしたく、エキスパートによる講義と実機を使った演習を行いました。

輪郭描出、プランの立て方、
鎮痛管理など、実地診療に則
した多角的な議論が行われま
した。

(株)千代田テクノル、富士フ
イルムメディカル(株)に協賛
いただきました。

参加者は12名でした。



地域に定着する放射線治療医養成 WG

領域 2 密封小線源治療を担う人材の育成「演習 2」を開催しました

地域に定着する放射線治療医養成 WG が開講する、緩和的放射線治療・密封小線源治療・高精度放射線治療の質の向上と普及を担う人材養成コース
領域 2「密封小線源治療を担う人材の育成」において、「演習 2」を開催しました。



演習 2

10月 25 日 (土) 9:00~13:00 (順天堂医院 1号館)

テーマ「看護の視点で考える：腔内照射における患者支援、鎮痛・鎮静」

講師：小此木 範之先生、塚本 友紀子先生（順天堂大学）、塩崎 園子先生（慶應義塾大学）、
藤木 浩子先生（東京都立多摩総合医療センター）、鈴木 恵子先生（東京科学大学）

要旨：質の高い腔内照射を実現するためには、看護の力が欠かせません。本演習では、施設ごとに異なるとされる腔内照射における鎮痛・鎮静の実際について、エキスパートナー
スがどのように看護を実践し
ているのかを学び、意見交換
を行いました。多くの施設の
看護師さんがご参加くださ
り、活発な議論が繰り広げら
れました。

参加者は 12 名でした。



地域に定着する放射線治療医養成 WG

領域 2 密封小線源治療を担う人材の育成「演習 3」を開催しました

地域に定着する放射線治療医養成 WG が開講する、緩和的放射線治療・密封小線源治療・高精度放射線治療の質の向上と普及を担う人材養成コース
領域 2「密封小線源治療を担う人材の育成」において、「演習 3」を開催しました。



演習 3

11月8日（土）9:30～12:30（日本ベクトン・ディッキンソン社）
テーマ「前立腺癌の低線量率組織内照射」

講師：白石 悠先生、花田 剛士先生、田中 智樹先生（慶應義塾大学）

要旨：前立腺癌に対する I-125 シード治療のプレプラン・線源発注・術中計画・ポストプランについて講演・演習を行いました。長年、I-125 シード治療に関わってきた講師陣によるマンツーマン体制での濃密な演習となりました。

日本ベクトン・ディッキンソン(株)、ボストン・サイエンティフィック ジャパン(株)に協賛いただきました。参加者は 4 名でした。



地域に定着する放射線治療医養成 WG 領域2 密封小線源治療を担う人材の育成「特別講義」を開催しました

地域に定着する放射線治療医養成 WG が開講する、緩和的放射線治療・密封小線源治療・高精度放射線治療の質の向上と普及を担う人材養成コース
領域2「密封小線源治療を担う人材の育成」において、「特別講義」を開催しました。



特別講義

12月11日（木）18:30～20:00（Zoom開催）

テーマ「子宮頸癌の放射線治療における併用化学療法：基礎から最新の動向」

講師：安藤 謙先生（群馬大学医学部附属病院/放射線治療科 講師）

司会：小此木 範之先生（順天堂大学）

要旨：子宮頸癌に対するX線治療、小線源治療、重粒子線治療のいずれにも精通する安藤謙先生をお迎えし、ご講演を賜りました。併用化学療法の基礎から、近年、保険収載された免疫チェックポイント阻害薬を使用する際の注意事項まで、幅広い内容のご講演をいただきました。参加者は26名でした。

